

国に対し、後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、医療保険制度一元化反対の  
意見書を求める陳情

(福祉健康委員会付託)

受 理 番 号 第 1 0 3 号

受 理 年 月 日 平 成 2 2 年 5 月 1 0 日

付 託 年 月 日 平 成 2 2 年 6 月 2 日

陳 情 者 . . . . .  
. . . . .

陳 情 原 文 2008年4月からスタートした後期高齢者医療制度は、多くの高齢  
者・国民が差別医療制度だ、働けない高齢者からなぜ保険料を取るのか、こんなひ  
どい制度は廃止してほしいと、高齢者・国民の怒りの声が広がっています。

後期高齢者医療の保険料は2年目を迎え、さらに引き上げられ、生活をさらに厳  
しいものにしています。

75歳以上の人たちは、悲惨な戦争を体験され、荒廃した日本を一生懸命働いて、  
日本を復興させてきた人たちです。こういう人たちに、年齢で区切り、差別医療を  
行う世界に恥ずべき制度は、すみやかに廃止すべきです。

また、高齢者医療改革会議では、政府が掲げた新しい制度を具体化する検討会議  
が進められ、都道府県単位の医療保険制度の一元化に向けて動きだしています。

医療保険制度の一元化は高齢者だけでなく、国民健康保険の都道府県単位の一元  
化、さらに協会けんぽ、企業で行っている被用者保険などを含め、医療保険全体の  
一元化が検討されています。国民は、新しい制度、医療保険制度一元化を求めては  
いません。

つきましては、貴議会において審議のうえ、下記のとおり国あてに意見書を提出  
されますよう陳情いたします。

#### 記

- 1 後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、もとの老人保健制度に戻すこと。
- 2 医療保険制度の一元化は行わないこと。